【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和6年10月4日(2024.10.4)

【国際公開番号】WO2022/064399
【公表番号】特表2023-542523(P2023-542523A)
【公表日】令和5年10月10日(2023.10.10)
【年通号数】公開公報(特許)2023-190
【出願番号】特願2023-518177(P2023-518177)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 39/395(2006.01)
Ａ６１Ｐ 35/04(2006.01)
Ａ６１Ｐ 1/18(2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/7068(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/337(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 39/395 Ｔ
Ａ６１Ｐ 35/04
Ａ６１Ｐ 1/18
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｐ 43/00 １２１
Ａ６１Ｋ 31/7068
Ａ６１Ｋ 31/337

【手続補正書】
【提出日】令和6年9月26日(2024.9.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ヒト対象における癌を治療する方法において使用するための医薬組成物であって、
前記方法において、オレクルマブ又はその抗原結合断片が、治療サイクルにおいて４用量にわたって２週間ごとに及び次いで４週間ごとに３０００ｍｇの用量で前記対象に投与され、デュルバルマブ又はその抗原結合断片が、前記治療サイクルにおいて４週間ごとに１５００ｍｇの用量で前記対象に投与され、並びに化学療法剤が、２８日間のサイクルの第１、８及び１５日目に投与され、及び次いで、前記２８日間のサイクルは、４週間ごとに繰り返され、前記化学療法剤は、１０００ｍｇ／ｍ^{2}のゲムシタビン及び１２５ｍｇ／ｍ^{2}のｎａｂ－パクリタキセルを含み、
前記医薬組成物は、（ｉ）前記オレクルマブ又はその抗原結合断片、（ｉｉ）前記デュルバルマブ又はその抗原結合断片、又は（ｉｉｉ）前記ゲムシタビン及び／又は前記ｎａｂ－パクリタキセルを含み、
前記ヒト対象から得られた腫瘍試料中の細胞の少なくとも約５０％～約９０％は、免疫組織化学（ＩＨＣ）法によって決定される場合、１、２又は３の染色強度を有する、医薬組成物。
【請求項２】

ヒト対象における癌を治療する方法において使用するための医薬組成物であって、
前記方法において、オレクルマブ又はその抗原結合断片が、治療サイクルにおいて４用量にわたって２週間ごとに及び次いで４週間ごとに３０００ｍｇの用量で前記対象に投与され、デュルバルマブ又はその抗原結合断片が、前記治療サイクルにおいて４週間ごとに１５００ｍｇの用量で前記対象に投与され、並びに化学療法剤が、２８日間の治療サイクルの第１及び１５日目に投与され、及び次いで、前記２８日間の治療サイクルは、４週間ごとに繰り返され、前記化学療法剤は、ｍＦＯＬＦＯＸを含み、
前記医薬組成物は、（ｉ）前記オレクルマブ又はその抗原結合断片、（ｉｉ）前記デュルバルマブ又はその抗原結合断片、又は（ｉｉｉ）前記ｍＦＯＬＦＯＸを含み、
前記ヒト対象から得られた腫瘍試料中の細胞の少なくとも約５０％～約９０％は、ＩＨＣ法によって決定される場合、１、２又は３の染色強度を有する、医薬組成物。

【請求項３】
前記ヒト対象から得られた腫瘍試料中の細胞の少なくとも約３０％～約７０％は、少なくとも２の染色強度を有する、請求項１又は２に記載の医薬組成物。

【請求項４】
前記ヒト対象から得られた腫瘍試料中の細胞の少なくとも約３０％、約３５％、約４０％、約４５％、約５０％、約５５％、約６０％、約６５％又は約７０％は、少なくとも２の染色強度を有する、請求項１～３のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項５】
前記癌は、ファーストライン転移性膵管腺癌である、請求項１～４のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項６】
前記癌は、セカンドライン転移性膵管腺癌である、請求項１～４のいずれか一項に記載の医薬組成物。